

2019年 研究・活動報告

院内発表会	埼玉民医連 学術交流集 談会			
		演題名	職種	発表者
●		職業復帰に向けてのデイケアでの取り組み	作業療法士	新井 基巳
●		3階病棟 Barthel Index と入院日数から見た現状 ～早期退院に向けての課題と目標～	理学療法士	小磯 孝章
●		強皮症により ADL 低下を呈した症例に対し役割の再獲得を通じて ADL、QOL 向上を目指す症例	理学療法士	高坂 剛
●	●	多職種が関わることで在宅療養生活を支えることができた一症例	管理栄養士	松本 紀美子
●		満足度アンケートを実施して見えてきた今後の課題	調理師	小淵 慎弥
●	●	在宅での麻薬性鎮痛薬使用における薬剤師の関わりと他職種連携	薬剤師	藤井 聡一朗
●		在宅退院への準備時に見えた問題点～他職種間での見える化を目指して～	薬剤師	若林純平
●	●	多彩な病名を持ち、多量の投薬とともに鎮痛剤依存となっている患者への関わり～転換性障害が疑われる患者に向き合い、治療方針が好転するまで～	看護師	高橋 梯子
●		継続看護における病棟看護師としての役割 ～入退院を繰り返す患者とその家族との関わりから学んだこと～	看護師	新井 由美子

●		在宅退院調整と在宅看護の実際から学んだ病棟看護師の視点や役割	看護師	相原 美枝
●		患者の思いを尊重し多職種と連携した看護～最後までトイレで排泄したい～	看護師	寺嶋 美紀
●		介護負担が増加した妻への支援	看護師	権上 真保
●		胃瘻造設後、退院支援に向けての関わり方	看護師	新井 真梨子
●		「TENA」移行と、個別性について	介護福祉士	川村 和史
●	●	通所リハビリテーションくまここでの利用者増の取り組み	介護職	坂本 由美子
●		介護職として最期のケアに携わって学んだこと	介護職	永島 智博
●		個人のケアプランと地域のマネジメント	介護福祉士	加藤 良子
●	●	通所リハビリにおける送迎業務改善	介護職	田部井俊
●		地域は宝の山～つなぐ安心明日もいきいきのまちづくりに着手～	事務総合職	曾田 恭基
●		通所リハビリくまここでの歯科衛生士の役割～1年間の活動報告～	歯科衛生士	三浦 麻衣
●	●	西日本豪雨災害支援活動に参加して	臨床検査技師	吾妻 広基
●	●	A群溶連菌感染症における薬剤感受性の耐性化率について	臨床検査技師	森田 怜子
	●	通所リハビリテーション利用者のリハビリテーション会議実施群と非実施群のADL比較 ～当院通所リハビリテーション新施設開設後の利用者の動向より～	理学療法士	北谷戸 春樹
	●	一般・地域包括ケア病床担当の卒2としての取り組み	理学療法士	川内 颯
	●	2種類のフレイル・リスク分類と評価基準測定値との関連性の検討	理学療法士	金子 伸比古
	●	リハビリ機器を活用しての職員の健康づくり	理学療法士	萩原 梢
	●	相談支援の振り返り～バイステックのケースワークの原則から学ぶ～	社会福祉士	松島 加奈

	●	摂食機能療法の現状と課題	言語聴覚士	柿沼 直美
	●	病棟患者における口唇噛み込みによる対応の症例	歯科衛生士	大坪 宏美
	●	介護食料理教室の取り組み	調理師	櫻井 一之
	●	医事課 組織課題への取り組み	事務総合職	野木 麻由美
	●	2018年度 2階病棟 満足度アンケートの取り組み について	介護職	山内 渉